

自然ってとっても心地よい

～ふおれすと鉱山『ゴールデンズペシャルウイーク』～

5月3日(水)から7日(日)までの5日間、鉱山町のふおれすと鉱山で『ゴールデンズペシャルウイーク』が開かれました。

この催しは、自然体験を通して人と自然、人と人とのつながりをもとうと、NPO法人モモンガくらぶの協力を得て、例年開催。さらに、今年は市民ボランティアも加わり親子連れなど約800人の参加者でにぎわいました。

会場では、ネイチャーガイドによる『春ランランピクニック』などの自然散策や朝6時から行われた『早朝バードウォッチング』、石窯で焼いたパンづくりなどのほか、『なつかしあそび場』では弓矢を作って飛ばすなど、親子や3世代で遊ぶ姿も見られ、終始笑顔の絶えない5日間になりました。

参加者からは、「登別に住んでいるのに初めて来ました。自然の中で歩いて、とっても気持ちよく過ごせました。笹弓矢づくりは毎日少しずつバージョンアップして、どうやったら遠くに飛ばすのかいろいろ試すのが楽しかった」などの声が聞かれ、おのおの楽しんでいました。



庭づくりの参考になりました ～春のガーデニング園芸基礎講習会～



4月29日(土)、亀田記念公園で『春のガーデニング園芸基礎講習会』（登別造園工事業協同組合主催）が開かれました。

この講習会は、4月から市都市公園指定管理者となった同組合が、年3回開催を予定している園芸講習会の1回目、天候にも恵まれ約70人の市民が参加しました。

この日は、小笠原行雄さんとフラワーマスターの資格を持つ原口弘子さんが講師となり、土づくりや肥料の種類と与え方、プランターや鉢への植え付けのポイントなど、花づくりの基礎知識のほか庭木の育て方などについて、講義や実演を通して説明していました。

夫婦で参加した富岸町の山崎さんは、「家を建てたばかりで、庭にまだ手をつけていなかったもので、基礎知識を習得したくて参加しました。全くの初心者なので、とても参考になりました」と話してくれました。

完走目指してガンバレ ～第31回登子連こいのぼりマラソン大会～

5月5日(金)、千歳町の市営陸上競技場を発着場所に『第31回登子連こいのぼりマラソン大会』（登別市子ども会育成連絡協議会主催）が行われました。

この催しは、速さを競うのではなく、健康づくりを目的に、子どもからお年寄りまでマイペースでマラソンを楽しんでもらおうと、行われています。

この日は、あいにくの小雨混じりで肌寒さを感じる天候の中、初めにこいのぼりが子どもたちの手で掲げられ、その後自分の体力に合わせた3・5・7kmの各コースに122人が参加し、完走目指して心地よい汗を流していました。

